

青少年宿泊センターの管理運営状況

1 基本情報

<所管局：子ども青少年局>

指定管理者	名古屋ユースクエア共同事業体		
主な業務内容	名古屋市青少年宿泊センターの管理運営業務を適正かつ円滑に実施すること。		
評価対象期間	令和2年4月～令和3年3月	指定期間	平成29年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 基本 事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	
	(2) 開館の実績	供用日・供用時間が遵守されているか。	○	
	(3) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	
	(4) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○	
	(5) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	
	(6) 事故・災害等への 対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○	
2 維持 管理	(1) 建物・設備の保守 点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○	
	(3) 清掃業務	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
	(5) 衛生管理	施設が衛生的に管理されているか。	○	
	(6) 新型コロナウイルス 感染症対策について	新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じているか。	○	
3 サ ー ビ ス	(1) 利用実績	利用者数の向上のために積極的に取り組んでいるか。	○	愛知県内すべての大学や短大等へガイドブックとポスターを送付し施設利用の働きかけに努めた。 施設の案内表示については利用者にわかりやすい配置場所にするなど工夫が必要。
	(2) 利用案内・窓口対応	利用者にわかりやすい施設案内ための工夫がされているか。	○	
	(3) 接客態度	接客態度、服装等は適切か。	○	
	(4) 広報・PRの実施	広報・PRは適切に行われているか。	○	
	(5) 利用者満足度	満足度調査を実施し、サービス向上に努めているか。	○	
	(6) 苦情・要望の把握・ 対応	利用者の意見や苦情について迅速に対応できているか。	○	
4 経 費 等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	
	(2) 使用料	適正に収受・管理されているか。	○	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響から施設の利用者数や宿泊者数は減少したが、施設の消毒や、利用者の検温確認等徹底した新型コロナウイルス感染症対策に努めるなど適切に管理運営された。また、感染状況を注視しながら、大学の授業が再開し始めた頃に愛知県内の大学や短大等にガイドブックを送付するなど施設利用の働きかけに努めた。
 今後は新しい生活様式を踏まえた幅広い施設利用について、効果的な広報の検討など利用率の向上に向けて、さらに工夫した取組や対応に努めていただきたい。

施設の現状

青少年宿泊センター

施設の現状	施設概要							
	社会性および主体性に富み、人間性豊かで活力あふれる青少年の育成を目的とする施設であり、主に青少年団体を対象に宿泊室(15室)、体育室、活動室その他の研修室を提供しています。また、青少年交流プラザを本館、青少年宿泊センターを分館として位置づけ、両施設の特徴を活かしながら、青少年の自立に向けた支援や、社会参加・参画活動の促進を一体的に行っています。							
	市の収支状況(千円) (2年度決算(見込)額)							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	78,158	6,443	84,601	4,372	1,080	79,149	84,601	
	特記事項							
新型コロナウイルス感染症の影響として、令和2年4月1日から5月31日までの期間は、施設使用の休止による使用料収入の減額が発生している。								
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	宿泊利用者数		人	10,662	11,112	10,262	1,160	
	研修室利用者数		人	76,957	76,615	78,339	27,448	
	特記事項							
	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年4月1日から5月31日まで、事業や施設の使用を休止。							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載